



October-December

自然栽培パーティ新聞



収穫量1/3だけど、来年もやるぜ！
ちゅうら

全国のパーティの活動

特別インタビュー 中野秀明さん

教えて今枝さん！チッソ肥料よりも大切な[光合成]とは
オランダ視察報告「オランダの農福連携 ケアファーム」

お知らせ

全国のパーティの活動



北海道から沖縄まで、全国各地に仲間がいる自然栽培パーティ！
「パーティ」には「仲間」という意味もあります。
各会員が日々農業に励んだり、仲間同士でつながったり、加工や販売を協力したりと、
ちょっとずつ広がっているパーティの輪。そんな全国の仲間たちの活動を紹介します！

全国フォーラムin金沢開催！

12/15～16に全国フォーラムが石川県金沢市で開催されました。今年で8回目となる全国フォーラムは、約150名の方が参加。映画上映会から始まり、午後からは名誉顧問である木村先生による基調講演の他、南国にしがわ農園の西川きよさん、サン・スマイル松浦さんの「子どもと食と未来」、まめの木農園石崎さんによる「自然栽培パーティ1年目」、栽培リーダーによる「楽しむコツ」、パーティアワード授賞式、全国の商品が集まるマルシェ販売など盛りだくさんの内容でした！



夜の交流会は、すばっつや農福師によるライブ演奏で大盛り上がり！



2日目は、渋沢寿一さんの講演。農の生き方を考えさせられる内容でした。

＊畑でかがやく農福師＊

阪神タイガースの大ファンの湯谷君。日本一に輝いた日から毎朝、六甲おろしの音楽♪とスティックで何かを叩く音！あい・ふあ～むは、都市農業で、地元の有名な農家さん(杉・五兵衛)にご指導頂きながら、2022年5月から就労支援B型事業所を始めた時から湯谷君は、ほとんど毎日欠かさず出勤してくれています。

最近、仲間になった隣町から来てくれる武内君と仲良しになって、毎日笑顔で、農作業にがんばってくれています。身体も一回り大きくなって、主軸メンバーで、大活躍中です！

あい・ふあ～む

湯谷吉貴さん



夢の森フリースクール 出会いの場ポレポレ

島根・福岡

10月31日、島根県の夢の森フリースクール、11月13日、福岡県の出会いの場ポレポレのいずれも新しいメンバーの施設に栽培リーダーが訪問にきました。ポレポレでは自然栽培の玉ねぎの植え付けをスタートしました。夢の森では今後の作付けと一緒に検討し、春先から自然栽培をスタートする予定です。現在、会員数は133団体で、全国に新しい仲間が増えています。みんなで、これからも自然栽培を盛り上げていきましょう！



2/24 (土) 沖縄感謝祭

2/24(土)に沖縄県北中城市のEMホテルで感謝祭を行います！詳細は最終ページをご覧ください。



畑でかがやく農福師

知識も技術も観察眼もあるけれど控えめで、前に出てくることがほとんどなかった塚本君ですが、おもや11年目にして徐々に頭角を現してきました！

控えめなのは変わらないけれど、率先して農作業の準備・片付けをしてくれ、朝は早めに出勤して道具の手入れをしていたり。トラクターなどの乗用農機具も練習中。丁寧さと勘の良さはさすがです。

今までもずっと作業を進める上で頼りにしてきましたが、ますます遅しく頼れる存在となってきています。後輩たちの憧れの先輩でいてね。

おもやではすっかりベテラン農福師となった塚本君。これからのさらなる活躍も楽しみにしています！



ヤマト福祉財団玉ねぎ塾開催！



公益財団法人ヤマト福祉財団が主催する就労系の事業所の工賃向上を目的とした農福連携実践塾（玉ねぎ栽培塾）に、自然栽培パーティの加盟の事業所の職員さんが6名参加し、玉ねぎの播種から収穫までを一年通じて学びました。利用者の作業に適している玉ねぎを栽培し、工賃向上に結び付けられるよう、今後活かしていきたいです。この玉ねぎ塾は、今年度中に第2期生を募集し、来年度も開催される予定です。詳しくはヤマト福祉財団の募集チラシで確認してください。



東京

東京中野自然栽培フェア出店！

10月28日（土）～29日（日）の2日間、東京中野で日本最大級の自然栽培のマルシェイベント「自然栽培フェア」が開催されました。今年で11年目ということで、出店数は過去最多！60を超える出店者が全国から集まりました。会場は、たくさんの方の来場者で大盛況！出店者だけでなく、お客様も自然栽培や食に対する想い熱量が強く、たくさんの情熱と学びを頂きました。安心で、おいしくて、たのしいマルシェイベントとなりました。来年も開催予定ですので、是非足を運んでみて下さい。





すべては子どもたちと未来のために

1999年に東京目黒にイタリア料理店「バーレンテツシ」を開業。2014年よりミシュランガイドブックピブルグلمان6年連続掲載。
イタリア、アフリカ、バリ島、ドイツなど、各国の食を通して見て感じた物を伝え、形にしようと考えている。
現在は九州福岡に拠点を移し、冷凍食品工場オーガニック部門のプロデュース、農福連携事業メニュー開発、子どもたちの食育ガストロノミーチルドレンの立ち上げ、自然を生かした石鹸・バーム・バスタイム商品のプロデュースなどを手がける。すべては未来のために。色を通じて地球とのかわりを考える。

一 自然栽培に関わるようになったきっかけ

宮城の農家の次男として生まれて、農業高校の食品化学科に進み、そこから料理人になりました。農家だからこそ、農業のいいところ/悪いところも見えたり、高校で学んで食品添加物のいいところ/悪いところも見えました。

きれいな空気、水、土などの地球環境を守るために、オーガニックや自然栽培のものを広げていきたいと思い、料理人として独立してからは、そういう「本当にいいもの」を使うようにしてきました。分かってくれる人は多くないけれど、自分の料理を通してお客さんに気づいてもらうチャンスを作りたいと思っていました。

その店に佐伯さんが来てくれたことで自然栽培パーティとつながりが生まれ、去年はオリジナルのスープを作らせてもらいました。

一 料理人として、自然栽培のおいしさや特徴とは

自分は何が何でも自然栽培がいい、とは思ってなくて、品種改良によって肥料が必要な種もあると思いますし、自然の中で植物自体が毒素を持つてくる可能性もある。でもいい自然栽培の野菜は包丁入れた瞬間に分かります。硬くて、切るというよりも割れるって感じ。限られた栄養の中でいい栄養を吸って育っていった野菜は密度が違う。

何年目の畑から自然栽培の野菜と言っているかは、人それぞれ考え方はあるだろうけど、料理人としてはきちんと「自然栽培何年目」と教えて欲しいです。4年も経てばだいぶいい自然栽培になっていると思いますね。

一 オーガニック給食にも関わっていると聞きました

北海道帯広の折笠農場さんを訪れた時に、学校給食の話が出ました。隣の更別村でオーガニック給食をすすめた13人くらいのグループがいるが、なかなか話が進まない。子どもたちのためなら無償でレシピを提供するよとその場で申し出て、準備がはじまりました。

11ヶ月くらい準備して、去年の11月1日に更別村の幼稚園から中学校三年生までの全生徒に100%オーガニックのカレーを提供することができました。

そしてこの話には続きがあり、役場や村長とも話をし、そのカレーを商品化し、100%のオーガニックカレーをふるさと納税で販売し、その利益をオーガニック給食

の財源にすることになったのです。

その村長は学校の元校長先生で、かつご自身の子供にアレルギーがあったことなどから、前向きな形で進めることができました。トッピングがやると決めると、オーガニック給食も実現できるんだなと実感しました。

一 自然栽培パーティのみんなにメッセージ

現在自分は、120年前から続く棚田のお米づくりを手伝いながら、老舗の酒蔵さんに協力してもらい、日本酒をつくるプロジェクトをやっています。そこにはどれくらい利益を出そうとか、何本売ろうとかはなくて、ただ、棚田も守れるし、地域にも喜ばれるし、みんなでお米作りができるし、美味しいお酒も飲めるし、何より楽しい。稲刈りに参加費なんて取らなくて、お米ができたからお米で返します。やわらかく人とつながる。そして想いに共感してくれる誰かが協力してくれたり買ってくれたりする。

だから、みなさんの活動も「どういう活動をしていて、なぜそれをやっているかの」という《目的》をもっと明確に人に伝えていくことが必要です。そうすれば、気づいた人が自然栽培をはじめられるかもしれない。逆に「収量を上げなきゃ、売り上げを達成させなきゃ」という《目標》を持つちゃうと自然栽培なんてできないんじゃないかな。

自然栽培って一般的な農業からはルールを外れていて、ある意味「落ちこぼれ」。でも、社会でもその落ちこぼれの人たちが意外とまともな言いこと言ったり考へたりするから、胸張って、人目なんか気にせず、自分たちがやっているこの魅力的な自然栽培の農業をどんどん伝えていって欲しいですね。

あと、加工品をもっと作った方がいいと思います。野菜に合わせた栽培をする自然栽培だと、収穫できるタイミングも同じで、どうしても値段が下がってしまう。美味しい野菜を美味しく、欲しいと思っている人や子どもたちに届けるためにも、加工品しかないと思っています。

がんばって！

お酒造りの様子は2月4日（日）朝にRKB毎日放送で「世界一の九州が始まる！」で放送予定！



チッソ肥料よりも大切な [光合成]とは



今枝稚加良さん

自然農福の力代表
自然栽培パーティ栽培リーダー



最近トラクターから飛び降りた拍子に足をねん挫した今枝です。気持ちは若いままですが、徐々に体は歳をとっていることにショックを受けました。みなさんもお無理ないように。

さて、自然栽培パーティのみなさんはもちろん、肥料や農薬がなくても野菜は育つ、というのを知っているかと思いますが、それでももしかして「土にあるチッソなどの肥料分を以下に吸収させるか。」という風に考えている方もいるんじゃないでしょうか。

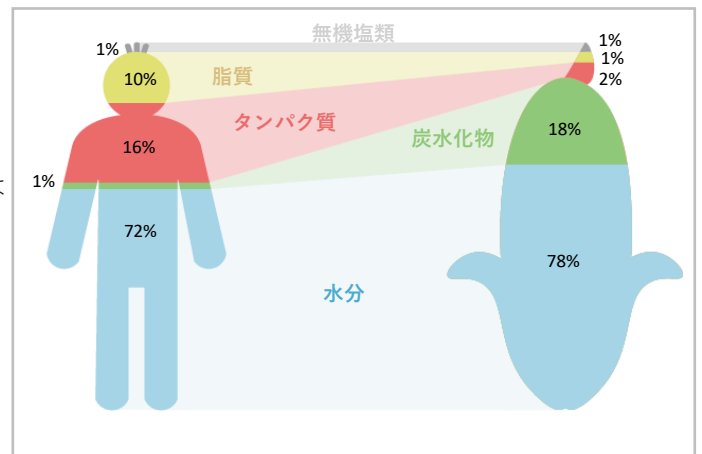
もちろんそのポイントも大切ですが、それよりもっと大切なことがあります。今日は、植物が生きていくために本当は何を求めているのか、植物の声に耳を傾け、改めて考える機会にしましょう。

そもそも植物って何でできてるんだっけ？

ちょっと理科の勉強の話になります。人とトウモロコシの成分をパーセンテージに置き換えたならこんな感じになります。つまり、

・植物は炭水化物（糖質）が多い！

さて、ではチッソ肥料は何を育てるためにあるのか。それはタンパク質をつくるためです。あれ？トウモロコシのタンパク質は2%しかないですよ？



では炭水化物をつくるにはどうしたらいいのか。



つまり、「光合成を最大化させること」が植物を育てるコツなのです！

効率よく光合成をさせるには

「でもうちの地域日照時間短いし...」「日あたりの悪い畑などでどうしようもない...」
いえ、まだできることはあります！光合成を最大化するには、光だけじゃない4つのポイントを整えてあげることが重要です。その4つのポイントとは「温度」「光」「風」「水」です。

- **温度** 「生育最適温度」
高すぎず低すぎず、植物にあった生育適温で
- **光** 「光飽和点と光補償点」
3千ルクス～3万ルクスの間で光合成が行われる
- **風** 「気孔」
風が吹くことで気孔がガス交換をおこなう
- **水** 「蒸散」
水が少ないと気孔が閉じガス交換ができなくなる。多湿の場合も蒸散しにくくなる。



よくない例

<風通しが悪い場合>
風通しが悪くほかの3つの要素がそろっていても光合成がうまく機能していない状態。たとえばビニールハウス内や、株間が狭かったり葉が込み合っている状態は風通しが悪くなりやすい。ビニールハウスであれば扇風機などの設置、株間を広げるか剪定して葉と葉の間に風が流れるようにする。

まとめ

植物が効率よく光合成ができる環境を整えることが自然栽培を上手に行う上での重要なポイントになります。また、植物の品種によって光合成のベストラインは変わってきます。まず、土にあった品種を選び、その野菜が最大限光合成ができるよう環境を整えましょう！

ゲームチェンジャー

GAME CHANGER

従来は農家の奥さんが自分も農園で何かやろうと、そして農業の大規模化を選ばなかった農家が**事業の多角化**として始めたケアファーム。最近ではソーシャルワーカーやケアワーカーが、**現状の社会福祉制度に疑問**を持って自分たちの理想を実現しようと始めるケースが多いそうです。

また、既存のケアファームの中にも、制度の狭間にいる働きたい若者たちや学校に行けない子どもたちなど向けに「補助金は支給されないけれどもやってやる、制度を変えてやる！」というまさに**ゲームチェンジャー**の心持ちで展開しているところもあります。

全国団体“Federatie Landbouw en Zorg”とその地方団体は、そんなケアファーマーたちを、ロビー活動、勉強会、広報活動などを通して支えています。

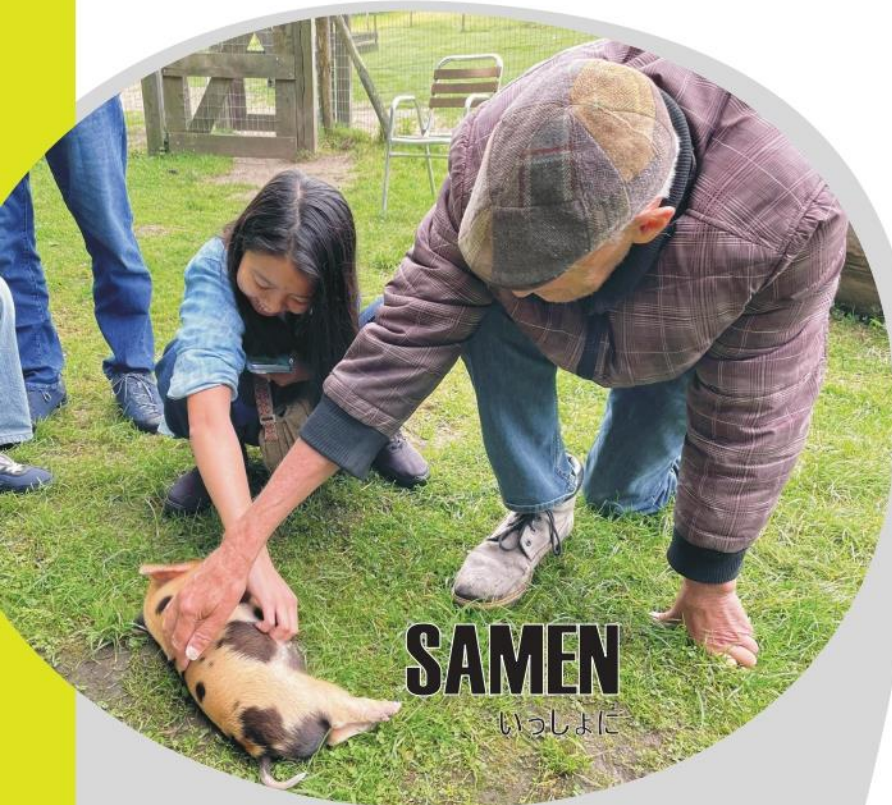


1300

オランダに存在するソーシャルファームの概数。ちなみに人口は日本の約7分の一、国土面積は約9分の一（九州くらい大きさ）。

ZORGLANDBOUW

オランダの



SAMEN

いっしょに

ケアファームの高齢者デイケアの利用者さんに話を聞いたところ、みんなと一緒に居られることが嬉しい、と言っていました。そのオーナーさんも、みんなと一緒にお昼ご飯を食べるのがうちのハイライトだよ、と。全国団体がまとめた、ケアファームが大事にしているもののリストには、“We eten samen gezond”（みんなで一緒に健康的な食事ができる）が含まれています。

食事だけでなく、一緒に動物の世話をすること、一緒に花を摘んで飾ること。社会とつながりがある、そういう意味でも、ケアファームは近年は「ソーシャルファーム」と呼ばれることも多いそうです。

それぞれが自分らしくいられる、それぞれに役割がある。それで大丈夫な場所。それがオランダでの「一緒に」なのです。

ケアファームとは、オランダで盛んな農業と福祉の連携の形です。農園という環境でケアサービスを提供しています。ケアファームが大切にしていること。それは大まかに5つに分類されます：人中心の支援、社会とのつながり・社会的支援、やりがいのある様々なアクティビティや仕事、緑の空間、アットホームな空間。農園でのアクティビティは様々で、野菜生産を行うところから豚や馬などの動物と触れ合えるところ、デイケアから入居施設まであります。

ケアファームにはオーガニック農家が多いです。人をケアしているのだから、**自然もケアするのが当然**だという考えでオーガニックに転換するそうです。そして特にボランティアは、オーガニック野菜やランチに魅力を感じて来る人が多いそう。このような意味でも、ケアファームにとってオーガニックであることは強みになります。

ただ、外部からの肥料投入をしない**自然栽培**の話をおランダのオーガニック農家数名にしてみたところ、「作物は畑から持ち出すのに、何も戻さなかったら土が痩せてしまう、**成り立つはずがない**」という反応でした。一人、パーマカルチャーに精通している方は、「植物や土、微生物の力は**私たち人間の想像を超えている**でしょうからね」と興味を持ってくださいました。



出発点が「居場所」「ケア」であるオランダのケアファーム。行きたくなる、居たくなる空間づくりに力を入れている印象でした。

農家・スタッフ・ボランティア・利用者みんなが集まって団欒するコーヒータイム。テーブルに飾られたお花。日向ぼっこできるベンチ。暖炉、ソファ、ブランケット。

最近、ケアファーム研究者の間でも注目されている（隠れた）対象者がボランティアです。特にコロナによって、緑のある空間で作業をして息抜きしたい、地域の農家から直接野菜を買いたい、などの需要が高まり、ケアファームはそのような人たちの恰好の受け入れ場所となっています。

3160万円

GEZELLIGHEID

ここちよさ

in NEDERLAND

ケアファーム

オランダの平均的なケアファームの福祉活動からの収入（一ユーロ158円で計算）大抵は福祉収入の方が多いが、農業収入と福祉収入半々くらいのところもある。（Hassink et al., 2020）

公的な福祉サービスとして認められているため、国や地方自治体、場合によっては利用者本人から福祉サービス料が支払われる仕組みになっています。事業所が利用者に対して工賃や賃金を支払う日本の農福連携とはお金の流れが逆なのです。

4.22 %

オランダの農地面積において、オーガニック栽培が占める割合。国として、2030年までに15%に引き上げるという目標がある。（Eurostat, 2023）



KRACHT VAN NATUUR

しぜんのちから

もっと知りたい方は

MEER WETEN?

こんにちは! サキです。今夏、再びオランダに旅をし、農業事情などを探究してきました。見聞きしてきたケアファームやオーガニック農業、さらには食料自給率や食文化を含む、オランダの旅を紹介する冊子を作りました。12月の金沢でのフォーラムでマルシェ価格＆サイン入りで販売します！残念ながら金沢には行けないという方は、WEBでもお買い求めいただけます。

また、野菜の名前をオランダ語でフィーチャーした、自然栽培パーティ・オランダチャリTシャツも引き続き販売しております。ぜひオランダを身にもってみてください！



NEWS 事業の報告

旬を旅する野菜セット<冬>実施しました。

今回は、全国14施設が参加し、それぞれの土地の旬のお野菜や加工品が100セット、お客様へ届けられました。来年も引き続き、より多くのお客様に手に取ってもらえるように、みなさんと一緒に盛り上げていきましょう！



2023年度栽培チャレンジが無事終了しました。

今年も4施設が参加し、無事終了しました！

<参加者の声>

各地のたくさんの畑を見させてもらいました！実際の畑や設備などを見ながらお話を聞くことで、想定していた以上の学びがありました。意外とほかの人の畑も雑草が伸びていたりうまく実らないこともあるという発見。いい意味で肩の力が抜けました。そして何よりつながりが深まり、ちょっとした相談もしやすくなったことが大きかったです。今後も全国フォーラムにはできるだけ参加しようと思います！（ホットスマイル小林さん）

オンライン勉強会の特別講演を2回行いました！

【講師】滋賀県の中道農園中道様

【講師】弘前大学名誉教授杉山様

【内容】最近の無肥料栽培での新たな取り組みや発見について

【内容】自然栽培で作物が育つしくみについて

会員
限定

会員
限定

全国各地のお知らせ

【愛知】ジブリパークの公園内に、パーティ商品販売開始!!

2024年1月2日（火）に、ジブリパークがあるモリコロに、無門福祉会の人気商品「さつまいもパイ」や全国のパーティのみなさんが作った加工品（お茶・ドライフルーツなど）を販売する店舗『下ノ畑』がオープンしました。畑で作られた安心・安全な食べ物をお客様に食べてもらいたいという想いがあります。各施設で自慢の加工品がありましたら、事務局まで情報をお寄せください。

情報募集中!

各地域や施設の取り組みやイベントの情報をお待ちしております。新しくお店をオープンした、農作業イベントを開催する、商品や取り組みが表彰されたなど、みなさんにお知らせしたい情報があれば、事務局までメールでお知らせください。

自然と勝手に

会員交流情報

群馬「菜の花」のみなさんが、外出で茨城の水族館に行ったときに、なんと!!「まめの木農園」の石崎さんご一家がサプライズ登場。農福師お一人ずつにお菓子の詰合せをプレゼント!こんな素敵な交流も生まれています。



EVENT イベント情報

【映画上映会情報】

自然栽培パーティの映画上映会が以下の場所/日程で上映されます。

【高知県香南市】

日程：2024年1月14日（日）

時間：10：00～16：00

場所：のいちふれあいセンター

サンホール

参加費：無料



トークショー
もあります。

2/24（土）沖縄感謝祭 in EMホテル

昨年沖縄で開催したことをご縁に、今年も沖縄で感謝祭を行います！今回はEMウェルネス暮らしの発祥ライフスタイルリゾートで、マルシェ、映画上映会、トークイベント音楽演奏などもりだくさん！マルシェに出店/委託販売を希望される方は、事務局までご連絡ください。



「醤油づくり大作戦 in 愛知」の仲間を募集します！

会員限定

今月のセレクトBOX販売中!



家族で楽しもう
DVDレンタルセット

事務局長一押し
今月の
セレクトBOX

事務局スタッフが一押しの商品を詰め込んだ今月のセレクトBOX。前回に引き続き、「家族で楽しもう！DVDレンタルセット」も販売します！

お家でみんなで映画鑑賞はいかがでしょう？（1週間/1家族）

1.26発送

野菜セット

3,000円
(税込/送料別)

野菜&DVDレンタルセット

5,000円
(税込/送料別)



自然栽培パーティ事務局

〒470-0376 愛知県豊田市高町東山7-43 jimukyoku@shizensaibai-party.com
TEL 0565-45-7883 FAX 0565-45-7886

編集
発行

先日開催された金沢フォーラムで、久しぶりに全国のみなさんと集まり、農福師含めたくさんの交流ができてよかったです。年に数回しか会わない、または初めて知り合う関係でも、そんなことを感じさせないくらい一瞬で、同じ空気感になる。何か一緒にいるだけであたたかい。心が楽しくなる。そんな感覚にみなさんとお会いするとなんか感じています。また、この集まり自体が微生物のようで、みんなつながって、一緒に自然栽培パーティの活動を育てているなと思っています。2024年もみなさんとのつながりを大切にしながらパーティの活動を広めていきたいと思っておりますので、2024年もよろしくお願いたします。また、新聞紙面でもつながって、一緒に盛り上げていきましょう。（川井）